

### 隣接している通学区域 弾力的な運用は

### 保護者の意向に配慮し より良い教育環境に努める

保護者がいると聞いている。

通学区域制度の運用は、その児童や生徒にとつて最も良い環境が求められることから、隣接する通学区域の弾力的対応が必要と考える。また、通学区域全体の見直しについての考えを聞きたい。

学校教育部長 指定校の変更については、一定の審査基準に基づいて、保護者の意向に配慮し、児童や生徒にとつて、より良い教育環境になるよう弾力的に対応している。

また、現在の通学区域は、長い歴史を経て地域に定着しているため、その見直しに当たっては、保護者や地域住民の理解が必要と考えている。

医療センター「子育て相談室」事業のさらなる充実と3-4か月検診にメンタルヘルスアンケート(エジンバラ産後うつ病自己評価票)の導入について



▲水と緑の通学路(二ヶ村緑道)

隆ミワ子 議員 毎年、新年度を前にすると、通学区域内の指定校に通うかどうかで、悩まれている児童・生

## 常任委員会からの審査報告

### 総務委員会

#### 第19号議案

#### 平成15年度府中市競走事業特別会計予算

本予算の総額は、1015億5385万9千円で、前年に対し1.8%の増となっている。歳入の主なものは、勝舟投票券発売収入で、1日平均5億3187万円の売上げと、その他、諸収入として、場外発売分の売上げを見込んでいる。一方、歳出では、事業開催に伴う運営経費のほか、一般会計への繰出金、競走事業運営調整基金積立金であるとの説明があった。

質疑に対して、日本船舶振興会などへ支払う交付金は、引き続き、引き下げを要望していく。また、一般会計への繰出金は5億円で、運営調整基金積立金は3億円を見込んでいたとの答弁があった。

委員から、関係者の努力を評価し、今後も、財源確保に努めることを要望し賛成するとの意見があった。

一方、以前より、全国展開する競走事業のやり方には疑問があるので反対するなどの意見があった。

採決の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 文教経済委員会

#### 第3号議案

#### 府中市生涯学習審議会条例

この議案は、市民の生涯学習の振興を図ることを目的に、府中市教育委員会の附属機関として、府中市生涯学習審議会を置くため、条例を制定するもの

この条例は、従来の生涯学習推進協議会、府中市社会教育委員の会議、府中市公民館運営審議会を廃止し、これらの委員会の機能を統合した審議会を設置し、幅広く生涯学習振興について審議するため制定するものとの説明があった。

質疑に対して、委員の選考は、PTAや学識経験者のほか、家庭教育やボランティア等の新しい分野も視野に入れ選考したい。また、市民の意見を聞く機会が減るとの懸念には、活動する各グループへ市から出向くことにより、連絡調整を図りたいとの答弁があった。委員から、選考に当たっては、社会経験豊富な人選を要望するなどの意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 厚生委員会

#### 第5号議案

#### 府中市介護保険条例の一部を改正する条例

この議案は、介護保険料の見直しに伴い、所要の改正を行うもの

この改正は、府中市第2期介護保険事業計画に基づき、65歳以上の高齢者の年額保険料を改定すること、現行、5段階で実施している所得段階区分を、新たに6段階に設定することなど、所要の改正を行うものであるとの説明があった。

質疑に対して、保険料の基準額を3300円(第3段階月額)に設定したとの報告があった。

委員から、6段階に設定したことは、所得の低い方への配慮として評価するなどの賛成意見があった。また、特別給付のおむつについては、今計画からは外し、引き続き一般施策より継続をお願いするなどの賛成意見があった。一方、基金は総額を取り崩し、現状の保険料に据え置くべきであるなどの反対意見があった。

採決の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 建設環境委員会

#### 第7号議案

#### 府中市立公園条例の一部を改正する条例

この議案は、市立公園の新設及び廃止に伴い、所要の改正を行うもの

新たに設置する公園は、若松町4丁目の「上ノ関遊園地」で、開発行為に伴い事業者から寄付を受けたものである。更に、四谷から押立町の「府中多摩川かぜのみち」は、管理の適正化を図るため、国土交通省と協議し了承を得て、新設するものであるとの説明があった。

なお、廃止する公園は、清水が丘2丁目の「清水が丘広場」で、都市計画道路の整備によるものである。

質疑に対して、「府中多摩川かぜのみち」は市民にとって、大きく変化はないが、映画撮影等の場合には、使用料を徴収することになるとの答弁があった。

委員から、新設公園は近隣住民の要望を聞いて対応してもらいたいなどの意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

## 特別委員会からの中間報告

### 基地対策特別委員会

調布基地跡地の誘致病院の建設状況は、2月末現在、進捗率60%である。今後、建物内部、施設整備、駐車場などの外構工事を行い、本年9月に完成、12月に開院の予定である。

また、病院内に停留所を設け、バスの乗り入れを予定している。府中駅を発着点とするルートについては、既存路線の変更も考えているが、コミユニティバスとの関連も検討したい。

次に、府中基地跡地留保地の国立医薬品食品衛生研究所の移転状況は、新たな進展はないものの、用途地域変更や建物の建築期間を考えると、平成15年度には、移転の位置が決定するものと考えているなどの報告があり、これを了承した。

### 再開発対策特別委員会

府中駅南口A地区の状況は、1月、準備組合の設立に関して、運営委員会と総会を開催している。今後、会員の合意形成を図り、平成15年度前半を目標に、準備組合を設立する。

次に、府中駅南口第三地区の現況は、掘削工事が5月に完了する予定で、その後、住宅棟、商業棟の基礎工事が行われ、平成17年2月の完成を目指している。また、市の子育て支援中核施設は、各エリアの具体的な整備計画がまとまり、今後、保留床購入契約を10月に締結する予定である。

テナント募集は、パンフレット、募集要項や出店申込書を作成し準備しているなどの報告があり、これを了承した。

### 鉄道対策特別委員会

南武線新駅設置の状況は、昨年、組合設立認可申請に伴う事業計画書の縦覧に対し、意見書が都へ提出されている。この意見書に対し、都からの照会を受け回答している。

都は、審査の結果、不採択の決定をしており、今後、組合の設立に当たっては、3月12日の設立認可、その後、総会の開催を予定している。

委員から、意見書が不採択になっても、引き続き、話し合いは続け、積極的に意見をくみ上げ、適切、丁寧な対応を要望するとの意見があった。

また、JR東日本八王子支社へ、事業の進捗よく状況を説明し、新駅設置に向けた、今後の協議の進め方について話し合いが行われたなどの報告があり、これを了承した。